

第7回 川ばた会議 参加者アンケート集計結果

回答者数：35人

問 - 1 あなたの年齢について(該当する番号に をつけてください)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代

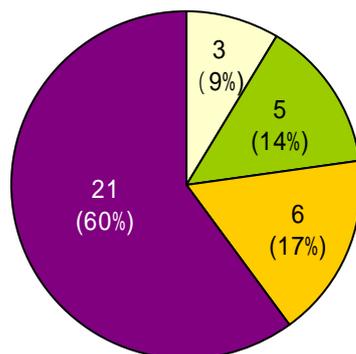
問 - 2 あなたの性別について

1. 男 2. 女

集計結果

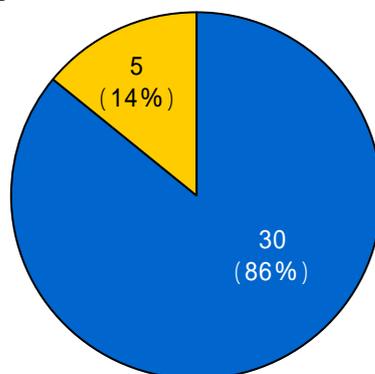
- ・ 回答者の6割を60歳代が占め、20歳未満・20歳代の回答はなかった。
- ・ 回答者の8割以上が男性だった。

問 - 1 参加者の年齢



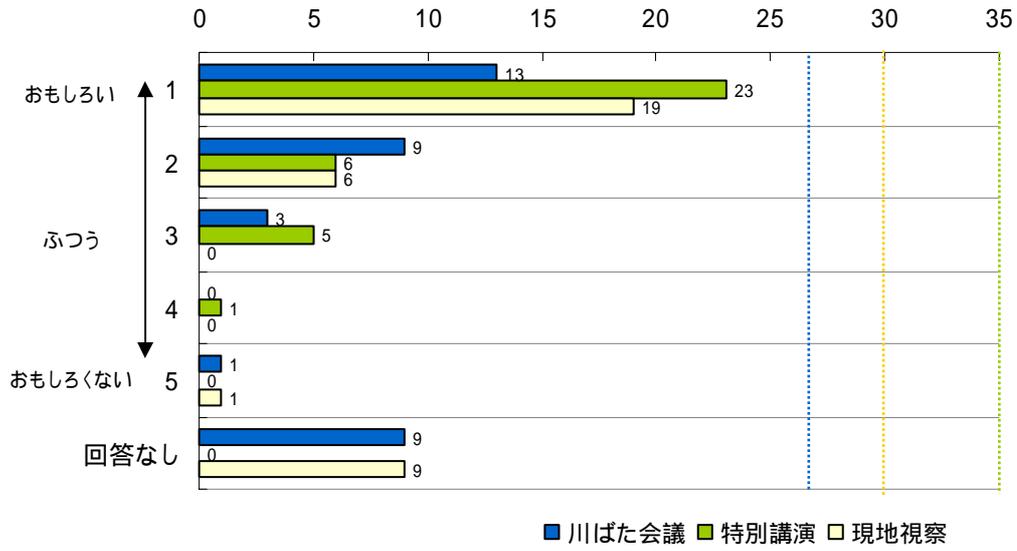
□ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代

問 - 2 男女比

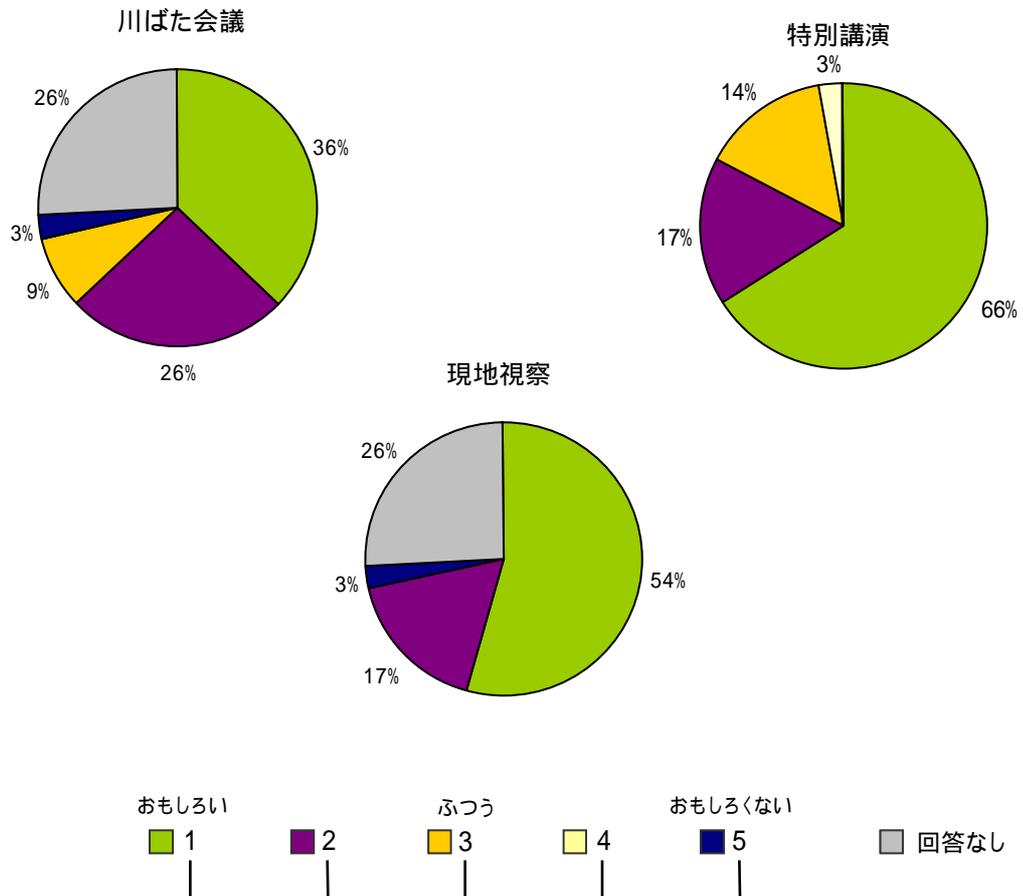


■ 男 ■ 女

問 - 3 内容について



項目別



問 - 3

特に印象に残った話題、内容はどんなことですか？
もしよろしければ、その理由を教えてください。

集計結果

長林教授の特別講演、河口閉塞に関する内容や意見が多い。

項目	話題、内容	それに対する理由	人数
川ばた会議について	川ばた会議における反省と今後の推進等		1
ワークショップについて	ワークショップ	・若い人(学生)の意見が聞けた ・今後の活動につながると思う	4
	班会議 ワークショップで、橋本先生、長林先生と同じグループ でとても話題が多く、あっという間に(時間が)過ぎてしまった	いろいろな意見が良かった	
特別講演	長林先生の講演	・話が具体的でももしろかった ・興味深かった ・長林先生の人柄も素敵だった ・夏井川の砂嘴の変化、閉塞についての対策 ・いろいろの風説があったがこれでスッキリした ・100%の理解できないが、閉塞メカニズムが良く判った ・河口閉塞の抜本的な解決方法はなく、うまく付き合っていくしかないのでは?と思った etc...	9
(特に河口閉塞について)	夏井川河口の閉塞原因について非常に参考になった		12
	河口について	ほとんど関心なかった	
	河口閉塞とその対策	・良かった ・長期にわたる調査研究が説得力があった ・河口が閉塞しているので興味がある ・いわき地元の各河川の河口閉塞のメカニズムに興味があった ・河川によって異なる理由について	
	効果的な開削法、模型実験結果等		
	河口の開口にも良いタイミングがあること	効率よく開口するすべがある	
	堆積メカニズム 砂の移動 海岸線の護持に自然環境の変遷サイクルを考慮して対処する時代を迎えているという指摘		
現地視察について	・夏井川河口の閉塞をじっくり見学できたこと ・平塩地区の白鳥飛来地にたくさんの白鳥が見られ嬉しかった		1
その他意見	一人では何もできないが、協力して続けると大きな力になる。自分たちで行動を起こし、行政と連携 水共生環境浄化に努めたい		2

(複数回答有)

回答なし9名

問 - 3

今回の川ばた会議開催を、どうやって知りましたか？

1. 案内が届いた
2. ポスター
3. 友人・知人
4. ホームページ
5. その他

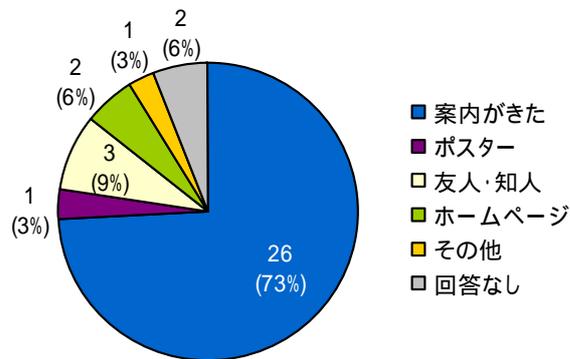
次回も参加したいと思いますか？

1. 参加する
2. 参加しない
3. わからない

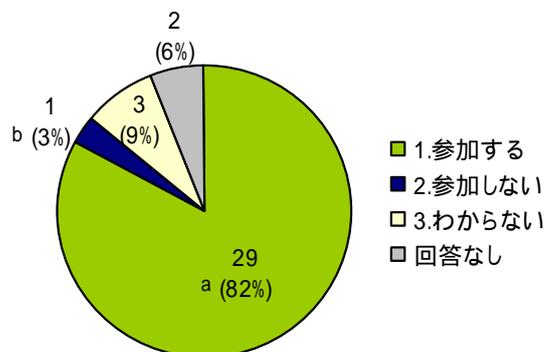
集計結果

- ・ 会議開催を案内状で知った人が 7 割以上だった。少数ではあるが、友人・知人を介して知った人や、HPで知って参加した人もいた。
- ・ 次回の参加については、1. 参加する と答えた人が 82%となり、多くの人が次回も参加を希望していることがわかった。

問 - 3 参加のきっかけ



問 - 3 次回の参加について



a 「参加したい」と記入した人を含む

b 2,3.両方に をした人を含む

問 - 4

その他、ご意見・ご感想等がございましたら、どんなことでも構いませんのでご記入下さい。

回答(6名)

- ・20年度もこのような催しを開催してほしい
- ・上流部とのかかわりはどうなっているのか
- ・会議での討論内容を現実の生活の中で行動に結び付けたい!
- ・次年度からは活動回数が減ると思うが、その分1回1回を充実した内容にしたいと思う
- ・河口の閉塞は自然の現象なので、人工的に手をかけても仕方がないのではないか
- ・より多くの人に川ばた会議に参加してもらうようにする事が良い

以上